

In The 40s Guys Special Concert

"Monologue" Concert vol.3

～おとこ6人による、CLASSIC、JAZZの響宴～

古田茂稔 (ヴァイオリン) 中川淳一 (ピアノ)
橋口武史 (クラシックギター) 山野修作 (ジャズギター)
滝沢昌之 (フルート) 緒方公治 (ジャズピアノ)

6月30日(土) 7月1日(日)
開場18:30 開演19:00 開場15:30 開演16:00
スタジオ・フリッツ・ナタン 福岡市中央区平尾5-22-10

第1部

program note

-Violin solo-

24のカプリースより24番 / パガニーニ (1782-1840)

パガニーニはイタリアのヴァイオリニスト。強烈な技巧が随所に盛り込まれた作品。ヴァイオリン演奏家には難曲に挙げられている。その最終曲24番は全曲をまとめるにふさわしい華々しい変奏曲。非常に有名な作品で、ブラームスやラフマニノフなどロマン派作家が競ってピアノ作品に改作・編曲している。

-Classic guitar solo-

ギターのための12のエチュードより第4番、第8番 / ヴィラ=ロボス (1887-1959)

ヴィラ=ロボスはブラジルの作曲家でクラシックの技法にブラジル独自の音楽を取り込んだ。パリではルーベンシュタインからヴァレールズにいたる幅広い芸術家の喝采を得た。20世紀を代表する作曲家である。12の練習曲は1928年、パリ時代の作品。ギタリストにとって重要なレパートリーである。

-Flute solo-

無伴奏組曲Op.98よりダイアログ、リート / ブルクハルト (1900-1955)

ブルクハルトはスイスの作曲家。彼は亡くなる年に、息子へ捧ぐピアノ曲と、フルーティストでもある娘へ捧ぐフルート曲を書いた。その個人的な宣言とも言える組曲は全4曲の作品だが、中心となるのは2曲目ダイアログと3曲目のリートである。ダイアログは2つの声が溶け合う対話。リートは声と伴奏。

-Piano solo-

前奏曲Op.32-12、ひな菊Op.38-3 / ラフマニノフ (1873-1943)

ラフマニノフはロシアの作曲家。身長2メートルに達する体躯と巨大な手の持ち主というのには有名だが、史上有数のピアニストでもあった。全24曲の前奏曲は彼の代表作で、Op.32-12は演奏頻度の高い名曲。ひな菊は、自身の歌曲「6つのロマンス」の第3曲目をピアノ独奏曲に編曲した、愛らしい作品。

-Jazz guitar solo-

ライク・サムワン・イン・ラブ / ジミー・バン・ヒューゼン (1913-1990)

ジミー・バン・ヒューゼンはニューヨークシラキューズに生まれる。ニューヨークのティンパンアレイで、ピアニストとして働きながら作曲を続け、'38年に「イツ・ザ・ドリーマー・イン・ミー」で最初のヒットを放つ。作詞家ジョニー・パーク、サミー・カーンとコンビを組んで次々とヒット曲を量産した。

コルコバード / アントニオ・カルロス・ジョビン (1927-1994)

カルロス・ジョビンは20世紀のブラジル音楽を代表する作曲家で、ボサノヴァムーブメントを形成した。ヴィラ=ロボスやドビュッシーなどクラシックの音楽家からの影響も大きい。コルコバードとは、ブラジルのリオデジャネイロにある標高710メートルの丘の名称。「コルコバードの丘」とも呼ばれる。

-Jazz piano solo-

カリブ / ミシェル・カミロ (1954-)

ミシェル・カミロはドミニカ共和国サントドミンゴ出身のジャズピアニストでコンポーザー。ラテン・ジャズを基調としたミュージシャンで、その卓越した技術で幼い頃から神童の呼び声が高く、10代で母国を代表するピアニストになった。'99年にはラテン・グラミー賞、2003年にはグラミー賞を受賞。

(休憩20分)

第2部

program note

-Jazz guitar & piano-

サマータイム / ガーシュイン (1898-1937)

ガーシュインはニューヨーク生まれ。サマータイムは、「ボーギーとベス」の Aria で、生まれたばかりの赤ん坊に歌われるブルース調の子守唄である。ハイフェッツがヴァイオリン独奏用に編曲したものや、武満徹がギター独奏用に編曲したものなど、様々なジャンルで多くのカバーが産み出されている。

スペイン / チック・コリア (1954-)

チック・コリアはアメリカ出身のピアニスト。ジュリアード音楽院で学び、ブルー・ミッチェル、ハービー・マン、モンゴ・サンタマリア、マイルス・デイヴィスらとキャリアを重ね、トップアーティストとしての地位を確立する。スペインは、1972年に作曲され、世界中の演奏家にカバーされている名曲。

-Flute & Guitar-

フルートとギターのためのソナチネ / カステルヌオーヴォ=テデスコ (1895-1968)

マリオ・カステルヌオーヴォ=テデスコは、イタリアの作曲家。フレンツェ音楽院のピアノ科を修了後、作曲科に転じる。ギター作品の大家、また、ハリウッドでの映画音楽の作曲家としても知られる。20世紀のイタリア音楽らしいソナチネは、語り合うような1楽章、優雅に踊るシシリアーノの2楽章、華やかな第3楽章で構成される。

-Violin & Piano-

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ / ドビュッシー (1862-1918)

ドビュッシーはフランスの作曲家。長音階・短音階以外の旋法と、機能と声にとらわれない自由な和声法などを用いて独自の作曲を実行した。このソナタは、一連のソナタのみならず、ドビュッシー全創作の最後のものである。

I. Allegro vivo II. Intermède. Fantastique et léger (間奏曲) III. Finale. Très animé

協賛:クレモナ楽器

Shige



古田茂稔
(ヴァイオリン)

Guzzi



橋口武史
(クラシックギター)

Takky



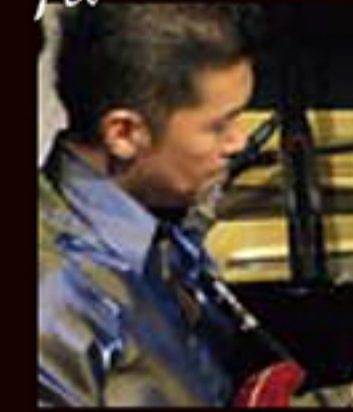
滝沢昌之
(フルート)

Yun



中川淳一
(ピアノ)

Yamashu



山野修作
(ジャズギター)

Shirokuma



緒方公治
(ジャズピアノ)

桐朋学園大学ヴァイオリン専攻卒業。インディアナ大学でパフォーマンス・ディプロマ取得。ノースウエスタン大学でマスター・オブ・ミュージック取得。'99年より'05年まで、テキサス州、サン・アントニオ交響楽団の第一ヴァイオリン奏者。'05年、ウィーンでライナー・ホーネック氏に師事。'11年ソリアルバムリリース。同年9月、シャルトル(フランス)でのリサイタルは、シャルトルの新聞エコー紙に、「申し分のないテクニックと表現力で聴衆を別世界へ連れて行った」と絶賛を受ける。

'86年、第32回九州ギター音楽コンクール第1位。'87年、第30回東京国際ギターコンクール入賞。'87年、第1回長崎若い芽のコンサート出演。'91年、第18回長崎県新人発表演奏会出演。'95年、第38回東京国際ギターコンクール第5位。ギターを山下亨氏に師事。通奏低音、及び伴奏法を岩田耕彦氏に師事。九州交響楽団首席コントラバス奏者 深沢 功と「Pilgrim」、さらに同楽団ファゴット奏者 壺口 浩之を加えた「Excel Birds」を結成。'08年、ソリアルバム「Stand Alone」をリリース。

国立音楽大学卒業。大学卒業後、デンマーク王立音楽院教授、T.L.クリスチャンセン氏に師事するため、コペンハーゲンへ留学。デンマーク王立音楽院ではイスラエルの打楽器奏者、オロン・シュヴァルツのリサイタルで共演。第5回日本クラシック音楽コンクール全国大会優秀賞。'06年より福岡を中心に、ソロ、室内楽の演奏活動、後進の指導を行う。'07年より筑紫野カメロンコンサート音楽ディレクター。'09年より毎年リサイタルを開催。

桐朋学園大学卒業後渡独し、ドイツ国立デトモルト音楽大学に入学。同大学を首席で卒業。これまでに、'85年第39回全日本学生音楽コンクール福岡大会第1位。'90年第9回飯塚新人音楽コンクール1位。'99年第44回西日本出身新人紹介演奏会にて西日本新聞社賞受賞。'00年日演連推薦新人演奏会オーディションに合格、九州交響楽団と共演。'01年九州サマーフェスティバルにて九州交響楽団と共演。「楽典の時〜室内楽セミナー&演奏会〜」企画運営。

15歳から独学でギターを弾き始め、大学卒業後、NHKFMでの公開演奏でプロのキャリアをスタートさせる。'96年福岡スクールオブミュージック専門学校にて講師を務める。'03年NYに渡り、NYのミュージシャンらとセッションを重ね、John Abercrombie、Gene Bertonciniらに師事。以降断続的に渡米を繰り返す。今年8月未NY録音の新作「Respective Destiny」を発表予定。12月17日にはNYからメンバーを招いて西鉄ホールでコンサートを予定。

幼少よりクラシックピアノを始め、エリス・マリサリス、ケニー・カークランドに感銘を受け、大学在学中にジャズに転向。26歳でプロ活動開始。シー・ホーク(望海楼)、上海ルネッサンスで演奏。現在は、福岡を中心にライブハウス(リバーサイド、バックステージなど)、ジャズ喫茶、披露宴、イベントなど活動を展開。'09年には、Koji Ogata Trioとして、アルバム「Over the moon」をリリース。現在、ホテル日航、夜間飛行にて、演奏。

一流ブランドは正規特約店のクレモナ楽器へおまかせください。

YAMAHA, Schille, Hensel Meind, Hosten, etc.

より良い楽器と安心との出会い!
応援します。若きアーティスト達!

音楽といつも素敵な関係でいたい

クレモナ楽器

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目10-24
営業時間/10:00~19:00(日・祭日10:00~18:00)
定休日/水曜日 FAX 092-761-8382
☎092-713-5303(代)
e-mail cremona@mx21.tiki.ne.jp
http://www.cremona-gakki.com